



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎ (095) 822-0680 FAX (095) 824-4623

「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく！」
～経営を極めていく企業家集団 会勢700名を達成しよう～

中同協 第47回 中小企業問題全国研究集会 in 鹿児島 参加報告

日時：2月16・17日(木・金) 会場：城山観光ホテル

第10分科会

**私たちがなぜ、
エネルギーシフトに取り組んできたか**

～「岩手エネルギー2050年ビジョン」その先にめざす姿とは～

信幸プロテック(株) 取締役会長 村松 幸雄 氏
岩手同友会 代表理事

(株)高田自動車学校 代表取締役 田村 満 氏
岩手同友会 代表理事

岩手同友会 事務局長 菊田 哲 氏

アドバイザー

エネルギーアドバイザー 長土居 正弘 氏
Dotプロジェクト 事務局長

代表理事 松尾 慶一

今回の鹿児島全研の目的は3つありました。一つ目は、全国の、特に九州各県の仲間たちに逢う事。二つ目は再来年の長崎全研に向けての準備。三つ目は分科会でエネルギーシフトを学ぶことでした。

一つ目は、会場に入ったら鹿児島の代表理事はじめ会員の皆さんに迎えられ、分科会でも何人かと逢うことができました。懇親会場では昨年、報告に行った大分の皆さんと話せ、一昨年報告に行った宮崎の皆さんと話せて感激でした。

二つ目は、長崎でこの全研をこんなに上手く出来る



かなと心配になりましたが、大丈夫、私達も団結して取組めば必ず成功すると決意を新たにしました。その上で改めて鹿児島同友会会員さん達の一生懸命な対応に感動しました。

そして、2日目の閉会挨拶をみてビックリ！次の全研開催地である兵庫の代表理事が立っているではありませんか。と言う事は、来年の兵庫全研の閉会挨拶は私の番なのです。これは大変だと思いました。行くつもりでは有りましたが、まさか出番が有ったとは…、やるしかないと思腹を決めました。

三つ目の、エネルギーシフトの分科会は2013年5月の鹿児島役員研修会や東北へ見学分科会に参加し何度か学んできたのですが、今回が一番心に残りました。何故かと思えば、回数を経るだけ私自身の学びが

目次

中同協 第47回 中小企業問題全国研究集会 in 鹿児島 参加報告	1	村上彫刻(佐世保支部 村上会員)経営計画発表会 参加報告	14
2月例会報告	3	第7回 景況調査 結果報告	15
中同協 障害者問題委員会 参加報告	9	私たち、がんばってます！～新入社員奮闘記～	17
第1回 九州沖縄エリア青年経営者合同例会 参加報告	9	事務局企業訪問	19
中同協 2016年度 第2回 経営労働委員会 参加報告	10	入会・復会会員紹介	20
女性部会・障がい者問題担当委員会 第6回 例会 開催報告	11	4月例会案内	21
第14回 中同協 青年部連絡会正副代表者会議 参加報告	12	理事会議事録 抜粋	21
第6回 経営指針策定セミナー 開催報告	13	会員消息・会員数	22

深まって来ているのだと感じました。その中で一番皆さんにお伝えしたいのは、脳梗塞、脳卒中の予防です。日本の交通事故の死亡者数は年間4,000人台で減少傾向にあるのに、脳卒中は6万人台で医療費も1兆7千億円と言われます。

その原因の一つに家の作りが有ります。エネルギーシフトでドイツと日本の家の作りの違いを挙げられました。ドイツの家はエネルギーを逃がさない様に作られていて、家の中の移動に温度差が無い様に作られて

います。私たちは風呂場やトイレに行く時、脱衣場や廊下がとても寒い環境が有ります。

それが脳梗塞の要因となり、半身不随など大変な結果を生んでいます。だからこそ、住環境を見直し新築もリフォームもコストをかけて長生きできる環境を整備しなければなりません。それらも地域の中に新しいビジネスへと成長する事を学びました。

よって、長崎同友会に於いてもエネルギーシフトの勉強会に取り組んで行きます。

第5分科会

人口減少社会で中小企業が存続するために、 必須の経営戦略とは？

～価格競争から価値競争へ！
自社の競争優位性をどのようにつくるか？～

(株)シティライン 代表取締役社長
福岡同友会 代表理事

田浦 通 氏

アドバイザー

福岡大学商学部 教授
就職・進路支援センター長

合力 知工 氏

副代表理事 金井 政春

長崎開催を意識してなのか、それとも昨年の経営フォーラムでの鹿児島からの多くのキャラバン隊に因ってなのか長崎同友会より42名の参加がありました。賀詞交歓会、定時総会でも100名前後しか参加者が無く寂しい思いをしていましたが、4月18日(火)の定時総会は多くの会員さんの参加が期待できそうな予感を感じました。大村支部からは15名の参加でした。朝7時に集合し爆走マイクロバスにゆられ、途中熊本震災の影響で渋滞に遭いましたが上谷支部長、徳田アドバイザーの年齢を感じさせない暴走ぎみの運転で無事会場へ到着しました。早速13時より分科会が開催されました。

田浦さんは29歳で大手物流会社を退職され独立創業されます。創業の動機が「一度きりの人生を掛けて

も惜しくない企業づくり」と高い志をもった創業でした。意識が高かった分創業からの業績は順調でした。しかし、創業4年目11人の社員中5人の社員が出社拒否、退職され現場は大パニックになり社長をはじめ残された社員の必死の頑張りで何とか乗り越えられたそうです。その状況を見ていた先輩社長より同友会を薦められ入会されたそうです。

入会后直ぐに経営指針づくりに取組まれ、経営計画発表会を実施し、社長の思い、会社のビジョンを発表する事により社員の意識が変わり、再び会社の業績は良くなったそうです。しかし創業20年目の頃には価格競争により単価は50%下落し経営危機に陥りました。原因は売上を求めすぎた安易な値下げが横行していたようで、その対策として価格競争に晒されない顕在市場から潜在市場への転換を模索され、国民医療費の増加、高齢化社会を考慮され成長産業になるだろうと医療機器の市場を発見され、病院の物流に特化した会社へ転換され高収益企業へなられました。

自社を直視し外部環境、内部環境を分析してビジョンを明確にする。次に社員に理念教育を実施すると共に労使見解を取り入れた社員満足度に努める。すると社員が頑張りお客様満足度向上につながる。おのずとリピーターが増え業績がアップする。この様なサイクルを早く作る事を肝に銘じて帰って来ました。最後に「中小企業は安売りしてはいけない！」との言葉が耳から離れませんでした。

長崎全研

2019年は長崎にて中小企業問題研究集会が開催されます!!

2019年2月(予定)開催まで

あと

23

ヶ月!!

長崎浦上支部 例会報告

日 時	2月21日(火) 19:00
会 場	プライムステージ
テ ー マ	社長さん、あなたの悩みは何ですか？ その悩み解決できる社長さんいませんか？ ～同友会をリアルに活用しよう。明日のために、幸せのために～



今回はディスカッション（座談会）メインの例会を企画しました。きっかけは、福岡同友会のとある会員さんの突然の廃業（破産）でした。そしてそれを直前まで知ることができなかった福岡同友会の人たちの悔しそうな表情でした。本音で指摘したり相談したりができていない、これだと同友会の意味がない…。

以前から、報告があり、グループディスカッションがあり、まとめがあり、上手くまとまったね、さあ懇親会だといういつもの流れにちょっと疑問とマンネリ感がありました。例会を企画する側、例会に参加する側と両方の面から。上手くまとまって例会が終わり、翌日になったらほとんど忘れていたことがありますか？実践できていますか？本当はちょっと相談したいことがあったのに、何も話すことができなかった経験はありませんか？

今回の例会の流れとしては①売上減少等のお金関係の悩み、②後継者問題、人材不足等の悩み、③テーマを設けない悩み、の3つにグループを分けて、それぞ



れの悩みを出し合ってもらいました。それに対しての指摘やアドバイスをしてもらおうという、ディスカッションよりも柔らかい雰囲気での座談会、話し合いをしてもらいました。私はそれぞれ少しずつ話を聞いて回りました。①では大企業の進出等による売上、お客さん減少等の悩み、②では社員共育、求人等の悩み、③では親御さんの介護等の悩みが話題に出ていました。ざっくりとした大きなテーマだったので、細部まで深く話すことができなかった感もありました。

果たして、今回のやり方が正解かどうかはわかりません。良い例会だったという言葉はたくさんいただきましたが、良い例会は例会が終わってあとから効いてくるものだと思います。これがきっかけになり、同友会が切磋琢磨と本音の指摘相談ができていける場所になることです。我々の目的は、「よい会社をつくろう、よい経営者になろう、よい経営環境をつくろう」です。社員とその家族を守ることです。地域貢献です。

最後に、私個人として嬉しかったことは、会歴の長い会員IさんのG長の上手さと強い同友会愛を感じたことでした。

(文責 橋本 裕次郎)

長崎出島支部 例会報告

日 時	2月15日(水) 18:00
会 場	サンプリエール
テ ー マ	実践で成し遂げた多角経営と人材育成 ～そして将来への展望～
報 告 者	新栄総業(株) 代表取締役 伊藤 弘和 会員

伊藤さんは長崎市高島出身、その後そのほとんどを長崎市南部地区で生活し産業が少ない南部に5つの多角経営の仕事を営み地域の活性化に大きく貢献されて

います。

若干17歳で夜間高校に通いながら造船の塗装の会社に就職し22歳で独立、数々のピンチを持ち前のパワーと前向きな気持ちで乗り切りお客様からの数々の要望に「はい」と一つ返事で受け続けた結果、建設業や車のコーティング業にまで仕事の幅が増え、ある時友人との口論で飲食業までやるようになったそうです。またある障がい者の親子との出会いがきっかけで福祉事業も立ち上げ将来的には長崎で障がい者と健常者が変わりなく働ける場所、壁のない世界「ノーウォールヴィレッジ」を作ると語られた時は会場で感動し称



賛の嵐でした。

そんな伊藤さんですがあるセミナーに参加した際講師の方に奥様を大事にし、よく話を聞いてあげればよい方向に向かうと言われ疑問に思いながらも実践したら本当にうまくいくようになったそうです。結果、会社内が明るくなり社員が自分達で考え時間に余裕ができたそうです。私も実践します。

グループディスカッションのテーマは「お客様に喜んでいただく為に何をしていますか？」で今後の仕事



のヒントになり大変勉強になりました。

懇親会では箱の中身は何ですかゲームで皆童心に帰り楽しまれていました。2月の寒さを吹き飛ばす熱い例会でした。

(文責 横山 伸司)

大村支部 例会報告

日 時	2月15日(水) 18:30
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	私と同友会 ～人生荒波ばかり・私が変われたきっかけ～
報 告 者	ソニー生命保険(株) 長崎ライフプランナーセンター第2支社 首藤 洋一 会員



まず自己紹介から始まり、現在の生命保険の仕事に転職して携わるきっかけ、その後皆さんへ向けた経営者としての保険の使い方についてのアドバイス、そして転職してからの経験談を同友会入会に繋がるまでについてお話いただきました。

なかでも、転職後から同友会へ入会するまでのお話は大変興味深いものでした。

転職後は思った以上に仕事もうまくいき、それなり



の収入も得られてしばらくの間は順調に進んでいました。しかし、計画を立てずに行動していたため、3年、4年と経過していくにつれて契約件数も減り、収入も激減してしまったそうです。

このままではいけないと考え、一人の経営者として仕切り直しするために会計事務所の主催するセミナーに参加し、経営計画を立てることを決心されました。セミナーに参加して立てられた経営計画は会計士からもお墨付きをもらえるような内容でしたが、最初はいいが長続きしない…参加していたセミナーを振り返り、自問自答し、たくさんの本を読み、多くの知識や情報を得ようと努力されました。また、お客さまのお金にかかわる仕事でもあるため財務の勉強も必要であると考え、様々なセミナーにも参加したそうです。

そんな試行錯誤をしながら、徐々に仕事も軌道にのっていく中で、副支部長の益田さんのお誘いがきっかけで経営者としての姿勢・経営・経営理念を学びた

いと同友会へ入会されました。例会での報告やグループディスカッション、そして例会以外の多くの会員との交流の中でたくさんのことを学ぶことができたそうです。

首藤さんは毎日日課にしていることがあります。朝早く起きて一日の活動計画をおさらいし、それに沿って活動し、夜家に帰ってから一日の反省をするということを続けています。その日課を欠かさず続けること

で活動がうまくいくようになったとお話しされていました。お話を聞きながら、自分のこれまでの振り返ってみると…これから先のことが少し見えたような気がしました。経営計画や理念の大切さが改めてわかった例会でした。

(文責 橋口 仁一)

諫早支部 例会報告

日 時	2月15日(水) 18:30
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	リーダーの信念が組織を変える ～なぜどん底の学校は立ち直ったのか?～
報 告 者	学校法人奥田学園 理事長・創成館高等学校 校長 奥田 修史 氏



報告者が現役の校長でもあり、学校法人の経営者でもある奥田さんということで、開始の前から貴重な報告を今か今かと楽しみにしておりました。

若くして学校を任せられ、その時既に荒れた学校と負債数十億円。まさに経営破綻状態の学校を、今や第一志望選択率92%という入学希望者や、スポーツ実績も常に上位の常連校にまで変革できた理由。それは、いまの現状分析をもとに、なぜ現状に至ったのかを考え、もし今の自分だったらどうしたのかという「置換力」、更に生徒の夢を叶えるように職員が一つになる「チーム創成館」、この原動力は各人を孤立させない「声掛け」からではないでしょうか。

奥田さんからの質問、「明日から1週間の旅行に行くことになりましたが、何を持っていきますか?」この問いに出席者の方々も頭をひねりました。今時の高校生は、携帯、充電器、etc。既に大人の私達は、お金、地図、時刻表、etc。そんな答えを出している時に、「実は、旅行先は南極です!」

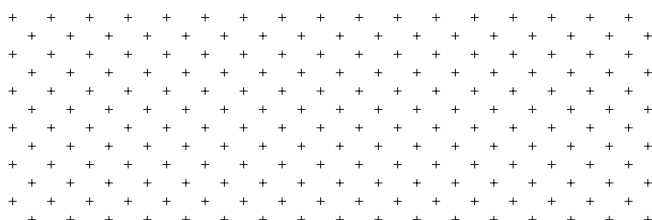
そうなんです。殆どの方が日常の中で明確な目標や目的 完成形をイメージすることすら出来ていないことを気づかされました。何事にも物事に完成形をイ



メージすることから始め、どうせやるならば「目的と効果」を考え、そして、ヤルことでそれぞれが元気になり自信を付けていく。リーダーとは、企業改革になる『様々な仕掛け』を企てる者だと思う。

まずは自らのモチベーションを高め、自分自身が一番楽しむこと。今までの習慣から、目標へ変える為の習慣を本気モードで、社員とチーム一丸となり、熱く日々の業に取り組むこと。そうすることで企業側も新たな若い力を採用、成長できるような元気で活発な企業作りができることを学びました。

(文責 井原 清貴)



島原支部 例会報告

日 時	2月23日(木) 19:00
会 場	HOTEL シーサイド島原
テ ー マ	2代目・3代目・4代目の事業承継の課題と 苦悩 ～未来へ向けての挑戦～
報 告 者	(有)吉田屋 代表取締役 吉田 伸哉 会員 (有)北浦材木 代表取締役 北浦 雄一 会員 平野彩 factory 代表者 平野 大介 会員

1948年に祖父が味噌と味噌漬の製造販売を始めた吉田屋の3代目となる吉田さんは、父から自分の好きな道を進めば良いと言われ広島芸術専門学校に進学。なのに突然帰って来いと連絡。父が知人の保証人となったことで1億5千万円も支払う事になったのです。まだ帰りたくないと、1年は放浪の旅で各地を周りました。その後大手製造会社で修行を積み吉田屋に入社。3年後社長に就任するも、引継ぎは一切無く先代は全くのノータッチでした。最初は得意先からなかなか相手にされず苦労しましたが、コツコツ真面目に誠意を尽くして頑張り、段々と認められるようになりました。この時の経験はその後に大きなプラスになったそうです。

当時はバブル絶頂期で大量生産が主流の時に、あえて手作りの製法・国産原料の使用・表示に変える決断をし、当時では先進的な安心安全にこだわった商品作りで現在の売り場確保に繋がりました。

北浦さんは1949年に曾祖父が造船製材所として創業、祖父が造船業を辞め製材業に、父が製材業を廃業し現在の卸小売販売の形態へ変更。北浦さんが高校3年の時、会社が経営危機に陥るも親戚の助力により倒産を回避。大学進学も出来ました。その後関東の建材メーカーに就職し、跡を継ぐ気はなかったそうです

が、お父様が心筋梗塞で倒れました。長期入院となる為、再建した会社を潰す訳にはいかないと会社を辞めて北浦木材に入社。資金繰りに追われ仕事も手につかない毎日でしたが、仕事が仕事を教えてくれると信じ頑張りました。徐々にお客様にも認められ、親族の多い社内でも意見が通るようになって社長に就任します。現在は組織づくりに注力し、地域密着型の事業展開をされています。

平野さんは父が平野農園を創業。農業2割、石積み8割でした。天才肌の父とは反りが合わず、嘔吐や血を吐く事がある程追い詰められた時期もありました。農地整備事業が推進されていた時、父がこれからは石積みの仕事は減ると見込んで農地を今までの5倍に増やしましたが利益は殆ど出ませんでした。27歳の時に母が他界し父が酒に溺れるようになり、33歳の時に父に記憶障害の症状がでました。そして父から突然経営を譲ると言われました。ただ平野農園の名前は使うな・保証人はしない・うまく行かなければ切り捨てるとの条件も。平野さんは父の販路を捨て新しく開拓しました。作物の品質向上にも努力し九州トップクラスの品質に。効率化、生産力アップに注力し売上も倍増しました。現在、農業をやめる理由がないと言う程伸びていて農地を集積して農業法人を目指しているとの事でした。

3人それぞれに共通して、手取り足取り教わりながらの事業承継ではなく、自力でなんとか会社を存続させようと必死に頑張った事がかえって自分らしい経営が出来るようになって良かったのではないかと思います。今回の報告は興味深い内容で、次回是一人ずつ報告が聞きたいとの意見が多く出ました。

(文責 坂田 考功)

佐世保支部 例会報告

日 時	2月24日(金) 18:30
会 場	佐世保市民会館
テ ー マ	特別支援学校の卒業生が、社長を変える！社員を変える！会社を変える！ ～佐世保特別支援学校先生方の会員企業見学ツアー報告&意見交換会～
報 告 者	佐世保特別支援学校 進路指導主事 井上 英一 氏 2学年進路指導部 濱西 大介 氏 (有)カワカミ 代表取締役 川上 利夫 会員 社会福祉法人 宮共生会 所長 原田 良太 会員 【進行】 プライアント(株) 代表取締役社長 橋口 久 会員

2015年10月に愛媛で開催された第18回障害者問題全国交流会第3分科会にて、広島同友会福山支



部と県立福山北特別支援学校との好取組の報告がありました。テーマは、「初めての障害者は、学校と企業の連携から始まった」。特別支援学校の先生方の会員企業バスツアーを通して学校と会員企業の親交を図り、それをきっかけに、在校生の職場体験実習の受入れや卒業生の正規雇用につながった事例でした。



佐世保支部ダイバーシティ経営委員会では、この広島同友会の取組みをTTP（徹底的にパクリ）し、2016年8月、佐世保特別支援学校の先生

方7名による会員企業7社の見学ツアーを開催。結果、その内2社が、11月に実施された高等部の職場体験実習を受入れました。

今回の例会では、学校より井上英一進路指導主事・濱西大介2学年進路指導部教諭、職場体験実習の受入先である（有）カワカミ 川上さん、ダイバーシティ経営委員会の前身である旧障害者問題委員会初代委員長・原田さんをパネリストに、3部構成で開催し、進行を私が務めました。

第1部は、会員企業見学ツアーの終了報告。ツアー内容報告の後、川上さんから見学受入れの感想、そして先生方から感想がありました。濱西先生から「企業と学校の常識の違いを認識した」とお話があったのは印象的でした。

第2部は、川上さんの職場体験実習受入れ報告でした。10月31日より9日間、高等部2年のTさんが実習で出社。中学生の受入れ経験はあった川上さんで

したが、特別支援学校からは初めてだったとのこと。川上さんからは、実習期間中の業務内容、経営者としての気づきと学び、社員の皆さんの反応、実習制度の改善点などのお話がありました。担任の濱西先生からは、実習前後のTさんの成長についてのお話、そして、Tさんの実習中の動画やお世話になった（有）カワカミの皆さんに対してのビデオレターも放映しました。

第3部は、原田さんと井上先生を中心に意見交換を行いました。導入部分として、同友会と障がいのある方の雇用の歴史について原田さんからお話がありました。1981年の国際障害者年をきっかけとして全国的な動きが始まり、1982年には中同協障害者問題委員会が発足。翌年には滋賀にて第1回障害者問題全国交流会が開催。同友会の気づきと実行力の速さに驚きました。その後、企業側の無知が、障がいのある方の雇用においての障害（壁）であることを共有した上で、特別支援学校高等部の就職への取組みについて、井上先生より説明がありました。

また、雇用だけが障がいのある方の支援ではない好事例として、先日、学内で開催された「身だしなみ講座」の紹介もありました。この講座では、Studio Dream 関さんが女子学生にメイクを、スタイリッシュワーズ（有）綿川 洋さんが男子学生にヘアスタイリングとネクタイの結び方を指導しました。

例会テーマにあるように、障がいのある方の雇用や深い関わりは、社長を変え、社員を変え、会社を変え、そして地域を変えます。今後もダイバーシティ経営委員会は、佐世保特別支援学校と二人三脚で、人間尊重の経営・人を生かす経営が実践できる土壌づくりを継続します。

（文責 橋口 久）

北松浦支部 例会報告

日 時	2月23日(木) 18:30
会 場	ホテル彩陽 WAKIGAWA
テ ー マ	牛蒡餅本舗 熊屋の歴史とこれから
報 告 者	(有)牛蒡餅本舗 熊屋 専務取締役 熊屋 誠一郎 氏

（有）牛蒡餅本舗 熊屋は創業1762年と250年以上続く平戸の老舗和菓子屋さんです。250年以上も営業を続けてこられた要因の一つに平戸の菓子文化があります。和菓子と言えば京都を思い浮かぶ方が多いと思いますが、平戸は出島以前に海外貿易の門戸を開いたことから西洋、東洋の文化がミックスされた独自の菓子文化を発展させた歴史を持ちます。

更に江戸時代 平戸藩の藩主である松浦家は茶道に



造詣が深く、その茶道に欠かせないものが菓子であったため平戸の菓子文化が振興しました。そのなかでも、百菓之図は藩主の命令で現代で言う100個の菓子のレシピを作らせたものだそうです。その百菓之図を現代に復活させようとされている一人が今回報告された八



代目 熊屋 誠一郎さんです。

東西百菓之図プロジェクトはオランダのアーティストが百菓之図からインスピレーションを得た和菓子をデザインし、それを平戸の菓子職人が形にするというものです。現在は平戸のオランダ商館、東京のオランダ大使館、アムステルダムの日見本市でお披露目され、今後は海外販売を目標としています。

2016年には台湾台北市で行われた台湾最大の食品市「Food Taipei 2016」に出展し、そこで知り合った台湾東部のお茶の名産地、台東県のお茶メーカーと共同で希少な「紅烏龍茶」使ったカステラを開発し、台湾と日本で販売するプロジェクトも進行中です。更に同食品市で知り合った香港、マカオでレストランを展開する会社と提携しマカオでカステラを売り出すプロジェクトが開始予定という話もされてい

ました。

その後、課題と強みの話に移りました。ネガティブな要因は、人口減少、少子高齢化、コンビニの進化等があり、そのなかでもコンビニの進化は早いということでした。一昔前まではコンビニスイーツと言えば簡素な物というイメージがありましたが、今では手の込んだ高級なものも出ているのでスイーツ一つにしても一般の方にどう売っていくかなどが課題ということでした。

ポジティブな要素としては、250年の歴史、平戸という土地柄、和菓子という商材で、やはり250年の歴史を色々と進化させて行きたいという思いから今後の方針は「平戸の和菓子」としてブランディングを行い、安定的な商いが出来るルートを広い範囲で探していく事が急務という事でした。

また、平戸市内でも南部、離島などは開発の余地が残っているので積極的な営業をしつつ世界も視野にいられて「平戸の和菓子」を広めていくという報告でした。

(文責 江頭 知裕)

五島支部 例会報告

日 時	2月24日(金) 18:30
会 場	観光ビル はたなか
テ ー マ	例会の取り組み方 ～会員の力で例会を盛り上げよう～
報 告 者	五島トラック建設(有) 取締役 谷川 喜一 会員



例会委員長を務める谷川喜一さんの発案で、「例会を盛り上げる、より会員のためになる例会を行っていくためにどのようにしたらよいだろうか?」ということを支部会員の意見を聞くために、いつもの報告形式にブレインストーミングという手法組み合わせて行いました。まずは谷川さんが例会の目的や準備、例会を開催するまでの苦労や、例会委員長になる前と今年一年務めてみて自身が同友会活動に対しての考え方や、参加する姿勢がどのように変わったのかを報告していただきました。委員長になる以前は例会にも参加した



りしなかったりだった谷川さんが、例会委員長(支部役員)を務めることによって、例会参加の重要性、経営フォーラム等支部外での同友会活動の素晴らしさや出会いを経験することができ、そのことで様々な気づきがあり、自社に持ち帰り、取り入れられるものは実践しているとのことでした。まさに同友会活動の本筋を体験したのではないのでしょうか。

報告後に辻支部長の司会でブレインストーミングを行いました。手法はディスカッションテーマについて参加者が思うことを付箋に何枚も書いていき、二つのテーマに分けた模造紙にひとまず貼っていきます。その後、その付箋を似たような意見のグループに分け、そのグループについて全員でディスカッションするといった方法で、多かった意見としては、「会員増強を行い、参加者を増やす」や「例会の充実、具体的に仕事に役に立つ情報や事例」などがありました。多数の意見を抽出する方法としては非常に効果的な方法であると、また一つ学ぶことができました。

今月の例会は年度末も近いからか参加者が少なかったのですが、少し変わった雰囲気で行え、会員の意見が分かった例会ではなかったかと思います。

(文責 勝本 政裕)

中同協 障害者問題委員会 参加報告

開催日時：1月26日(木) 13:30 会場：東京同友会会議室



今回2回目の参加でした。前回初めてお会いした方々と、再会し、委員会の雰囲気にも慣れてきました。今回の会場は、東京同友会事務局の会議室でした。他県の事務局には訪問したことがないので、よい見学にもなりました。

最初の議題は東京同友会からの報告で、障害者雇用～就労困難者への広がりとして、ひきこもりの若者などの支援のお話がありました。東京同友会では障害者問題だけでなく、幅広い視野でみた問題に切り替えて、次年度からは多様性委員会(仮名)と名称の変更を予定しているようです。

このような動きが少しずつ浸透しているようで、次の議題は障害者問題委員会のあり方検討プロジェクトとして、今後の中同協での障害者問題委員会の課題を話し合いました。そこにはまだ長崎ではあまり実践されてない4委員会の連携(経営労働、共育、共同求人との)も非常に深く関わっていました。障害者問題委員会は連携にはうまく入れずに歯がゆい思いをしてい



る県がほとんどでした。

「人を生かす経営」の実践をするには、やはり4委員会の連携、障害者問題委員会の多様性化も必要な事と思いました。障害者問題委員会はそのあり方を見直す段階にあることを痛切に感じました。

各県の委員会活動報告を聞き、新たな目標を胸に懇親会へ。懇親会は委員会では会話が出来なかった方とそれぞれまた熱く語り合うことができました。各県の取り組みや、情報があちらこちらから聞こえ、とても刺激になりました。これからの長崎の取り組みも賛同いただき、次年度ダイバーシティ委員長としてしっかり頑張っていく勇気がもてました。

今後も各県の活動などにアンテナを張り、より良い委員会活動ができるように邁進していきたいと思います。

(文責 女性部会・障がい者問題担当委員会
副委員長 菅原 千代枝)

第1回 九州沖縄エリア青年経営者合同例会 参加報告

開催日：2月3日(金) 会場：ホテルセントラータ博多

第1分科会

不離一体で学んで、自分と未来が変わった

～仲間たちとの出会い、親父と職人に認められるまで～

(株)大丸製作所 常務取締役
福岡同友会 青年支部

大丸 拓郎 氏

長崎出島支部 加悦 良康

報告者の大丸さんは、1932年に祖父が始めた家具製造会社の長男として誕生。幼少期から大学卒業ま

で家業を継ぐ話は無縁だったそうで、大学卒業後は実家でやっている事業とは全く異なる事業の会社に就職。3年半頑張られていましたが、体調を崩し退職。海外旅行などで1年半の充電期間を経てお父さん(現：社長)の「暇ならウチで働け。中小企業では好きな事ができる」との一言で入社されたそうです。

8年前の入社当初は、職人さんとの接し方や、採算に対する意識欠落など自身がサラリーマンとして学んできた価値観との違いで悩みが絶えなかったそうです。そんな日々が続く中、入社3年頃に先輩の誘いで同友会に入会。いろんな経営者と交友を深める中で、



経営指針書作成の必要性に気付かれたそうです。

その後、同友会の経営指針書作成の合宿に参加し、経営指針書を作成。ただ、社長に説明するも、「はいはい」とあまり聞いてもらえない状況が初めは続いたそうですが、同友会の先輩たちの助言を受け、時間を掛けて再度社長に説明されたそうです。そこで、ようやく社長も事業承継の事や、今後どうしたいかなど本音を話し始められたそうです。

今では、経営指針書を4年間掛け社員に定着させることができ、職人さんとの関係改善や採算意識の芽生えなど成果をあげられているそうです。また3年後の



事業承継に向け、人員の再配置や職人文化で長年続いていた「見て盗め」から「教えて育てる」やり方への変革に取り組むと共に、同友会で得た知識や考え方を自社に持ち帰り、実践する日々を送られているとのこと。

「同友会活動はあなたと会社を変えましたか？」のテーマでディスカッションを行いました。多くの方の意見で共通点としては、経営者間の繋がりや励ましにより「価値観の共有ができた」「考え方が変わった」など、会社を続ける為の前向きなエネルギーとして同友会重要だということでした。

第4分科会

青年部活動と企業づくり

～青年部活動で業績は上がる！～

(株)クニヨシ 代表取締役
青年部連絡会 代表
広島同友会

早間 雄大 氏

長崎浦上支部 安井 忠行

20代後半までバックパッカーとして世界中を放浪、その後ご両親が営む金属加工会社へ就職されますが不況の煽りを受け取引先の90%が倒産。借金6000万自己資本1.5%という厳しい状況の中で自身の置かれた境遇にただ愚痴るばかりでしたが、入会を機に「家業から企業への転身」を決意され、同友会で13年かけて学び・気づき・自社での実践を繰り返し返されるなかで「置かれた環境のせいではなく全て自分のせい」と考え方を変えられ、売上10倍・自己資本50%以上、主体性溢れる社員さん達の誕生などの成功を収められた体験を赤裸々に報告していただきました。

「同友会青年部に出会わなければ今に至ることはなかった」とまで言われる通り素直に受け入れ実践することの大切さや同友会の仲間、特に同年代の青年部の方々言わば同志との交流の大切さを大いに語っていただき痛感させられる内容でした。

中同協青年部連絡会の立上げメンバーとして活躍さ



れている見地から「九州青年部はまだまだ鎖国に近い。もっと全国的に交流し自分の会社と自身の立ち位置を知って高みを目指そう！」とのお話も

あり長崎メンバーの1社1社がこの地から全国にむけ発信できる企業と青年経営者会をこれから作って行きたいと強く感じる気づきとなりました。

最後に早間さんが現在抱えられている経営課題を語っていただき、他県の青年部の皆さんと普段とは雰囲気違ったグループディスカッションができ大きな学びとなりました。この学びをしっかりと自社と長崎同友会青年経営者会に落とし込み、長崎らしく一人一人が鎖国時代の終わりを告げる現代の「坂本龍馬」になれるように成長して参ります。

中同協 2016年度 第2回 経営労働委員会 参加報告

開催日時：2月9日(木) 13:00～2月10日(金) 12:00 会場：TKP品川カンファレンスセンター

第1部 報告・審議事項

第5回「人を生かす経営全国交流会」のまとめ、2017年の中同協総会議案の経営労働委員会関連について、「経営指針成文化と実践の手引き」の活用について

⇒労使見解の本質を理解し、実践することの重要性を確認した、労使見解を根底にした経営指針に基づく経営実践の推進と労働環境の整備と就業規則の見直しを推進する

第2部 経営指針成文化・実践運動の発展を目指して

⇒埼玉同友会の取組みについての報告があった。最初の経営指針セミナーは1991年2月(26年前)受講者約400名、2014年より企業変革支援プログラム導入、近年は委員会での労使見解勉強会の実施等の報告があった。

第3部 各同友会の取組みの交流

参加25同友会の委員会活動の報告があった。

経営労働委員長 宇土 敏郎

＜報告＞

昨年9月の第1回の委員長会議の時も感じましたが、長崎の活動の遅れを再認識しました。同友会活動の基礎となる「労使見解」、また先人の会員が行ってきた同友会活動の意義を現会員に理解していただき、自社の経営の強固な基盤づくりに役立てていただけるように活動を軌道修正していくという決意を強くしました。

また、経営指針作成セミナーの運営についても多くの気づきをいただきましたので、来期の活動である6カ月コースの新経営指針作成セミナーの運営に反映し、成文化と実践の実践を推進していきます。

更に、長崎も就業規則の見直しを定期的に行っている会員は少ないと思います。労使見解では社員は共に成長していく重要なパートナーです。社員も納得できる就業規則を考える活動を進めていきます。

最後に、各同友会から刺激を受けました。まずは経営指針の成文化と実践を各支部委員会と連携して行っています。

女性部会・障がい者問題担当委員会 第6回 例会 開催報告

開催日時：2月10日(金) 18:30 会場：松藤プラザえきまえ「いきいき」ひろば

テーマ：これが敦子の生きる道(成長編) ～ダイバーシティ大作戦！小さな会社でもできること～

報告者：村上彫刻 副代表 村上 敦子 会員(佐世保支部)



村上さんは民間企業に就職してキャリアを積んだ後、結婚してご主人の会社である村上彫刻に入社しました。しかしご主人と仕事の上で衝突することもあり、とうとう半年後に体調を崩してしまいました。それから数年間は、主婦業に重きを置き、仕事は手伝い程度にとどめたそうです。

しかし経営状態が厳しい状況となり、そんな時機械



メーカーの展示会に行った際に、ある女性社長との出会いがあり廃業の危機を乗り切る事が出来ました。その後売上減少を埋めるべく、本格的に仕事復帰をすることになりました。そして2015年5月の佐世保支部例会にゲスト参加し、女性会員の方の報告を聞いて感動し、すぐに入会を決めました。

入会後いろいろな先輩会員から助言され活動してい



くなかで、新規事業の開始を決めました。また、その頃に経営計画発表会の存在を知り、先輩会員から「経営計画発表会は小規模事業者でも取り組むべき」と助言を受け、経営計画発表会を開催しました。作成した経営計画書が、行政機関からの補助金の申請等の際にも大いに役立ったそうです。

またその他にも、ながさき経済人材育成塾受講、ビ

ジネスフェアへの出店、新現役交流会への参加、新取引先開拓等、わずか2年の間に多くの活動を行い、業績も改善しているそうです。

こういった精力的な活動の背景には、「何があっても強くたくましく生きなさい」というお母さんの言葉が村上さんのなかで強く残っており、理念となっているそうです。

出席者からは、「行動力・学びを実行していく力がすごい」といった感想が多くの方から出ていました。

次年度から「女性部会・障がい者問題担当委員会」は「ダイバーシティ委員会」と名改称されますが、村上さんは多種多様な人材が活躍できる組織作りに積極的に取り組んでいて、ダイバーシティという理念を会社経営の中で体现している経営者だと感じました。

(文責 長崎浦上支部 北川 亮)

第14回 中同協 青年部連絡会正副代表者会議 参加報告

開催日時：2月11日(土) 9:30 会場：愛知同友会会議室

今回の青年部連絡会は①次期運営組織について②今年9月に開催される茨城青全交について話し合われました。次期運営体制については、現在は中同協広浜幹事長と広島同友会の早間さんが代表として活動されていましたが、来期より奈良同友会の中野さんにバトンタッチして若い人達でつくる新体制で臨んでほしいとの要望が出され、奈良同友会より中野さんを代表候補に推薦していただくことが決定しました。その他の運営委員については後日選任する事になり今までの運営委員だけでなく新しい青年部現役世代の若い人達に引き継いでいく準備を今後進めていくことを確認しました。委員の選出方法についても確認事項として明確に文書として作成し決定するよう今後は進めていく事になりました。

ブロックについてはブロック長を置かず運営委員が担当するようにしてはどうかとの意見が出され今後検

討する事になりました。

茨城青全交については、記念講演の候補者を金砂郷食品(株)代表取締役 永田 幸雄氏で調整中との報告があり、その他には第1分科会の内容を「企業づくりと青年部活動は不離一体」のテーマで東日本同友会会員数名の方達によるパネルディスカッションをおこなう事を検討する。第2分科会は「次代のリーダーとしての期待」をテーマに福岡同友会の中村さんに報告していただくことを埼玉同友会の三角さんを中心に検討する事が確認されました。

今回の青年部連絡会は6月3日に開催される長野青年部設立記念式に合わせて行われることが決定しました。

(文責 青年経営者会 顧問 山口 善也)



新商品

長崎さるくマット

ダスキン栄進

TEL 823-7633

瀧川 隆 会員(長崎出島支部)

広告募集

＜4cm×9cm＞

複数月 割引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000

第6回 経営指針策定セミナー 開催報告

開催日：2月11・12日（土・日） 会場：いこいの村長崎

【参加者の声】

経営労働委員会では第6回経営指針策定セミナーを開催。当日、降雪の影響も心配されましたが無事開催することができました。以下、参加された皆さんからの感想です。「経営指針成文化と実践の手引き」をもとに、10年ビジョンを描き、各社の方向性が見えてきたセミナーとなりました。今後も経営指針成文化と実践の運動が拡がり、会員各社の発展につながることを祈念します。

1. 長崎出島支部 菅原 千代枝

昨年の11月に経営理念策定セミナーに参加し、一人では実現不可能だった経営理念を完成させました。同友会だからこそ実現できたことと思い、次の大きなステップの経営指針策定セミナーに参加しました。わかりやすい手引書のもと、より現実的な指針が出来上がりとても満足しています。これを完成ではなく、次につなげるような形にしていきたいです。

2. 大村支部 出口 博基

今までの手引きは「経営指針とは」を理解するためのもので、読んでいても理解できず正直「難しい」という思いがありました。今回の手引きは「10年ビジョン」が加わったことでイメージしやすく、作成しやすく感じました。今回参加された皆さんはテキストに沿った形で助言がなくても作成できていました。

3. 諫早支部 松田 卓

これまで1～6回まですべて参加しましたが、初めて自社の方針を発表させていただきました。現状大変な危機感を持ってセミナーに参加し勉強する中で、今後の進むべき方向が見えて大変ありがたいセミナーでした。

4. 島原支部 池田 知謙

経営指針の更新のために参加しました。内容はとても良かったのですが目的が違ったので具体的な計画が立てられなかったことが残念でした。しかし10年ビジョンについて考える時間がとれたことは良かったと思います。

5. 佐世保支部 前川 優也

参加して本当に良かったです。自社を深く見つめ直す良いきっかけをいただきました。今までは場当たり



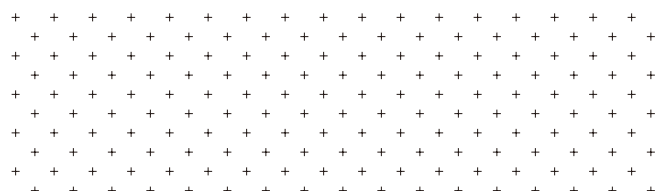
的な感じで仕事をしてきましたが、あらためて計画性の大切さを知ることができ、今回の合宿で学んだことを実践できるように1つ1つ行動を重ねていきます。できることから少しずつ！宇土委員長をはじめ、参加された皆様、本当にありがとうございました。同友会って本当にいいですね。学ぶレベルに合わせたプログラム！いいですね！

6. ゲスト（株）にんじんネット 藤澤 千絵さん

経営について時間をかけて考えて具体的にしていけることができ、とても勉強になりました。ゲストでの参加にもご対応いただきとても感謝しています。

7. 経営労働委員長 宇土 敏郎

新刊されたテキストを使いセミナーを開催しました。進めていく中で中身が充実していることが再確認できました。指針の重要性はご理解いただけたのではないかと思います。



村上彫刻(佐世保支部 村上会員)経営計画発表会 参加報告

開催日：1月28日(土) 会場：九十九島ベイサイド ホテル＆リゾート フラッグス

【参加者の声】

1. (株) 広告のアクセス 山領 進

前期反省を明確に「クリア」「残念」で示すことは、スタッフの皆さんにとってもとても解りやすく有効な手段だと思いました。マネジメント方針・営業方針・制作方針全てに経営者の思いが強く込められていることを感じます。経営者の強いリーダーシップ・モチベーションの高さに感激に近い感情を覚えました。とても学ぶことが有り、私のテンションも上がりました。

2. (有)エムズ 川下 眞文

家内工業的營業を脱皮し経営方針の必要性を感じ、あらゆる分析をして50期の経営計画発表会を開催された事に感激しました。前回村上さんのことを、同友会の鏡と言いましたが同友会佐世保支部の女神でした。

3. (有)前川建材店 前川 優也

すごく作り込まれた計画書だなと思います。この経営計画書を私も参考にさせていただきます！会社（スタッフ）の雰囲気が伝わってくる素晴らしい発表会でした。最後まで安心して聞くことが出来ました。一つだけ言わせていただければ、もう少しゆっくり話をされてもと思います。

4. (株)PMC 佐藤 安司

初めて経営計画発表会に出席させていただきました。自社でも今年6月に開催予定です。大変参考になりました。会社の理念・方針・計画の必要性が感じ取れました。

5. 鍼灸院みずたま 平山 祐二

経営計画発表会をすることで、考えや方向性がまとまって一年を計画的に過ごせることを、感じさせていただきました。自分自身の発表会のお手本にさせていただきます！ありがとうございました。

6. ニコット・サービス(有) 江口 陽一

改めて、目標を決めて進む、そしてオアシスを見つける事、この法則が無くては成長出来ないと、本日の経営計画発表会に参加させていただき強く感じました。

7. i SOLUTION JAPAN 八並 学

村上彫刻ならではのスタッフの協力で目標を達成す

るしくみ作りは参考になりました。中期目標に関しては前回より自社の環境を基にされて良い経営計画だと思います。社長の強いリーダーシップに期待します！

8. (有)山崎マーク 山崎 秀平

昨年参加出来なかったので、今年は絶対来たくて参加しました。とてもアットホームでありながら情熱的な発表会でした。同じ製造業として学ぶ点（目標や既存のお客様の徹底的なフォロー等）がとても多かったです。自社に落とし込めるところがあったので、真似させていただきます。社員の皆様、来年も楽しみにしています！

9. プライアント(株) 橋口 久

①第4期9期ビデオ：(流しっぱなしではなく、スライドで代表のコメントがあった方が良かったが、時間の関係で難しかったかな(生の声が欲しい/来賓とコミュニケーションが取れる) 2016年度の出来事の紹介はBGMに流しながらビデオスタイルで良かった。②経営計画：(1)社長の発表が堂々としていて素晴らしい。この一年で大きく変わられたのではない(スゴイ)。(2)骨壺事業：新規事業が軌道に乗り、会社成長の広告塔となっていることが良い。③売上目標達成：マネジメント方針・営業方針・制作方針(多能化)④個人目標：皆堂々、生き生きしている(日々のチームワークの良さが。反映しているのではない(スゴイ)⑤中期ビジョン：2年3年以内と区切りをつけたのが良い。長期は2023の事業承継以外の①②は締め切りがないのが+になった。※代表のサプライズ祝い：こんなハプニング性のあるプログラムが良い！

10. (株)福祉工房K's 豊福 和明

今期の経営課題(目標)達成に向けた3つのプロジェクト、方針・スケジュール(工程表)計画、まとめに全社挙げての決意!中期ビジョンから長期ビジョンが大変楽しみとなる経営計画書・発表会でした。村上彫刻スタイル!また佐世保支部にお手本となる実践者が誕生しましたね。

A 10x10 grid of plus signs (+) on a white background. The grid is composed of 10 rows and 10 columns, totaling 100 plus signs.

第7回 景況調査 結果報告

長崎同友会では四半期に一度、独自の景況調査を行っています。今回596社を対象に第7回目を実施し、160社から回答をいただきました（回答率26.8%）。下記簡易分析結果をご報告します。

業種、本社所在地、年商、資金繰りに関しては過去と同じような傾向が出ています。

景況感に関して、第6回（2016年7月期～9月期）と比較すると、売上高、経常利益、業況判断すべてにおいて第6回目よりも増加あるいは好転という傾向が出ています。また昨年同時期、次期見通しに関しても、売上高、経常利益は増加、好転傾向が見られます。しかしながら「昨年同時期DI値▲5、次期見通しDI値▲4」と実際に感じる景況感に関してはまだまだ慎重な見方をしているという傾向にあるかと思えます。

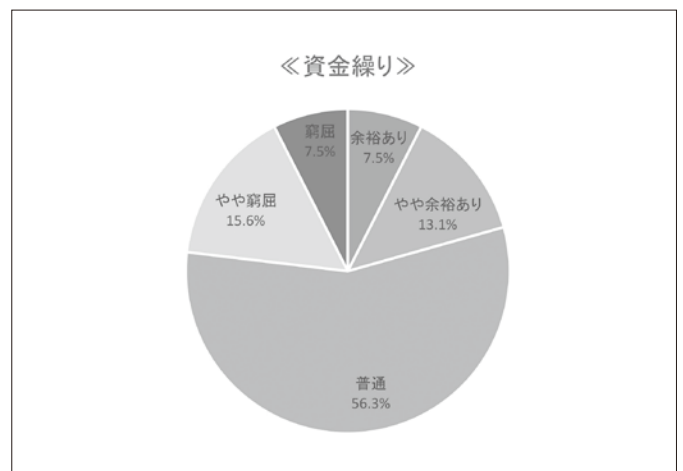
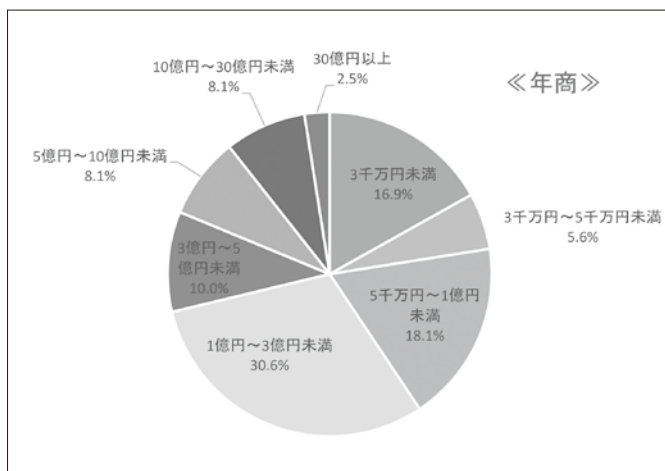
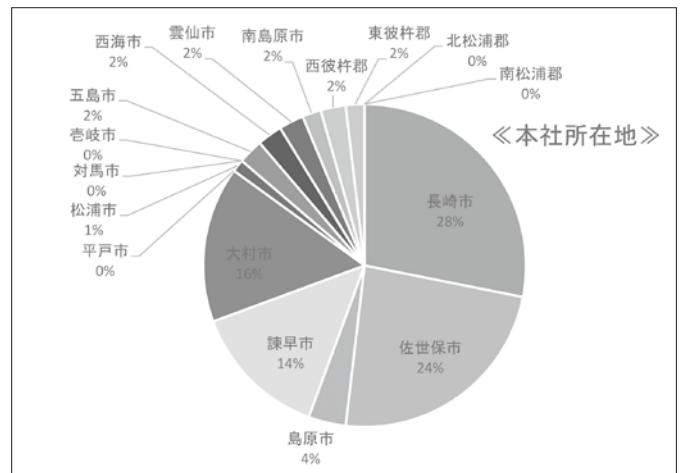
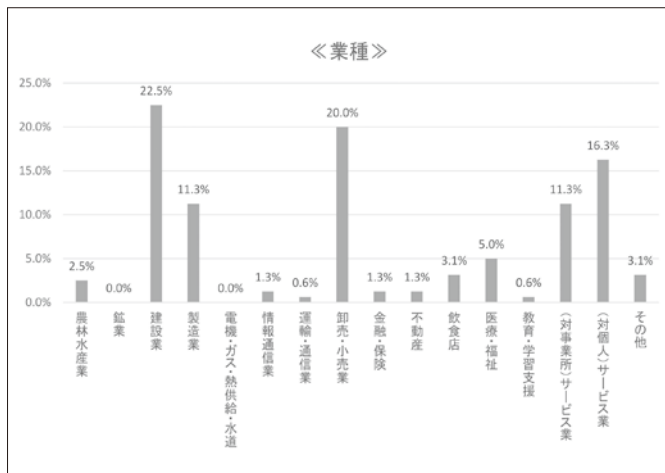
経営上の問題点に関しては引き続き「人材確保難」「社員不足」が上位を占め、全体的な人手不足感是否めません。この流れは現在の重点項目あるいはこれからの重点項目にも影響され、「人材確保」「社員共育」が各社の重点項目となっていることがうかが

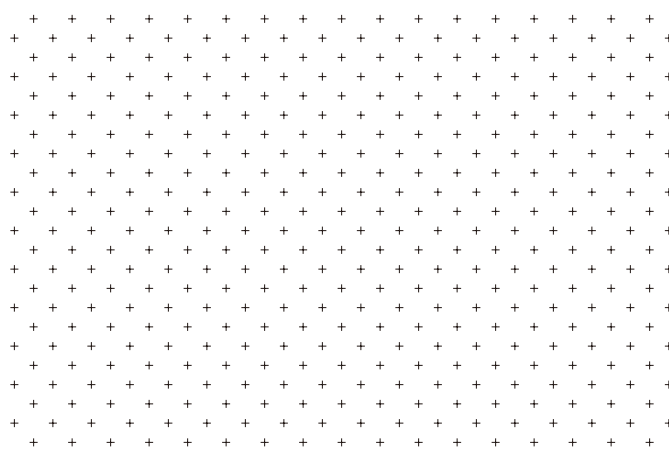
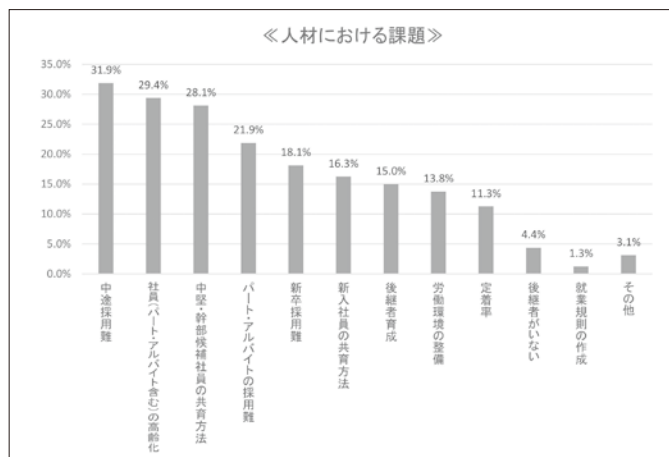
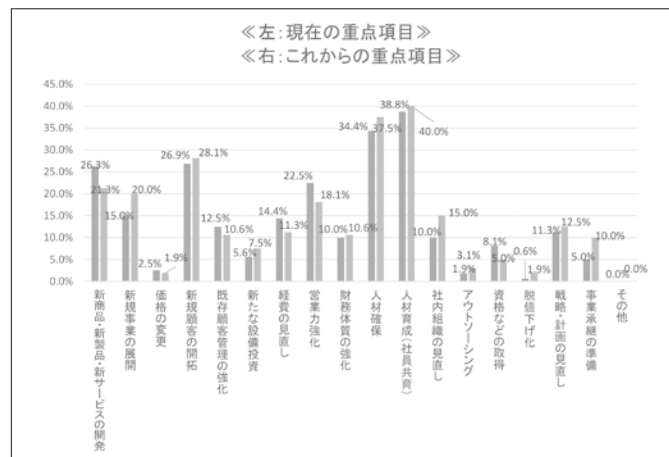
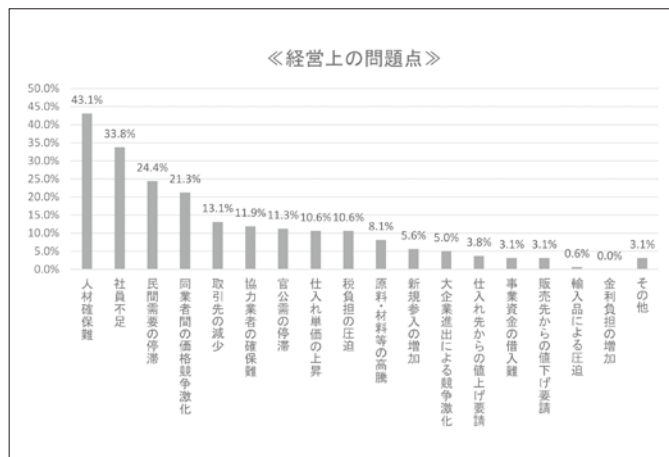
えます。

このような流れは結果的に、人材に関する課題にもみられるように、「中途採用難」「社員の高齢化」「中堅・幹部候補の共育方法」の割合が高いことにつながり、「社員の高齢化に伴う社員の募集→中途採用を考えるも採用に至らない→採用するも共育方法が課題である」といった見方ができるのではないかと思います。

今回の景況調査をもとに、今後政策委員会では優先課題としてどのように取り組んでいくのか、行政や金融機関に対してどのようなアプローチを行っていくのか分析、議論し他の委員会とも連携しながら、会員各社の企業経営に役立つような取り組みを検討していきたいと思えます。またこの結果を受け、会員皆様の政策委員会への積極的なご参加、ご意見もお待ちしておりますのでぜひよろしくお願いいたします。

（文責 事務局次長 峰 圭太）





＜景況感＞

	2016年7～9月期と比べて(直前3ヵ月との比較)			2015年10～12月期と比べて(昨年同時期との比較)			2015年1～3月期と比べて(次期見通し)		
売上高	増加	横ばい	減少	増加	横ばい	減少	増加	横ばい	減少
	30.6%	51.3%	18.1%	31.9%	45.6%	22.5%	25.0%	58.8%	16.3%
経常利益	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化
	23.8%	60.0%	16.3%	26.7%	50.0%	23.8%	21.3%	61.9%	16.9%
業況判断	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化	好転	横ばい	悪化
	19.4%	65.6%	15.0%	16.9%	61.3%	21.9%	16.3%	64.4%	19.4%

＜役員を含む正規社員数＞ 3,204 人

0人	1～9人	10～19人	20～29人	30～39人
5	83	30	14	6
3.1%	52.2%	18.9%	8.8%	3.8%
40～49人	50～59人	60～69人	70～79人	80～89人
7	1	3	2	1
4.4%	0.6%	1.9%	1.3%	0.6%
90～99人	100～199人	200人～		
0	6	1		
0.0%	3.8%	0.6%		

＜派遣、契約社員を含む臨時・パート・アルバイト数＞ 2,442 人

0人	1～9人	10～19人	20～29人	30～39人
45	80	9	4	8
28.3%	50.3%	5.7%	2.5%	5.0%
40～49人	50～59人	60～69人	70～79人	80～89人
0	0	1	2	1
0.0%	0.0%	0.6%	1.3%	0.6%
90～99人	100～199人	200人～		
3	4	2		
1.9%	2.5%	1.3%		

＜全社員数(正規＋パート・アルバイト)＞ 5,646 人

0人	1～9人	10～19人	20～29人	30～39人
3	64	36	16	5
1.9%	40.3%	22.6%	10.1%	3.1%
40～49人	50～59人	60～69人	70～79人	80～89人
7	5	2	2	3
4.4%	3.1%	1.3%	1.3%	1.9%
90～99人	100～199人	200～299人	300人～	
0	9	4	3	
0.0%	5.7%	2.5%	1.9%	

投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数／約 500 字

●画像／歓迎します

□掲載／情報広報委員会にて選考

□投稿先／情報広報委員または同友会事務局まで

□メール／jimu@nagasaki.doyu.jp



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月 10 日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月 15 日～20 日に行います。支部指定も出来ます。

A4 チラシ 1 枚 5 円です。A3 チラシは 2 枚分となります。ご利用お待ちしております。

私たち、がんばってます!!

～新入社員奮闘記～

2015年度長崎同友会初の合同入社式第1期生、(株)エイコー商事:北松浦支部の池村さん、戸高さん、阿部さん、牧山さん、江口さん、梅野さん。入社して1年が経った「今」取材しました。



池村 実季穂 さん

■今の仕事内容を教えてください

車のボディの板金塗装のフロント業務と、損保会社の窓口業務です。保険会社とはお客様が事故をされた際の協定のやり取りなども行っています。保険処理では中古や新品の部品、パーツなどお客様の気持ちをくみ取り修理のお見積もりなどもご提案します。

■仕事のやりがいや気を付けていることは何ですか

以前担当させていただいたお客様で、営業スタッフ経由で「対応が良かった」と言われた事があります。事故を起こされたお客様は気持ちが沈んでいる場合が多いのでコミュニケーションをとりながら笑顔で、しっかりとした敬語を使うことでお客様から信頼をいただけるよう心がけています。結果的に修理や対応が良かったという言葉をいただくとやりがいがあると感じます。

■今後の目標を教えてください

まだまだ経験が浅いので知識を増やし、自分で考えて主体的に行動することです。また現場の作業がスムーズに進むように予定の段取りなどを組み売り上げアップに貢献したいと思います。



戸高 瑠璃 さん

■今の仕事内容を教えてください

昨年12月から経理へ異動となりました。領収証の作成や売掛金の処理、現金のチェックなどお金に関する部署なので一つひとつ流れを勉強しています。

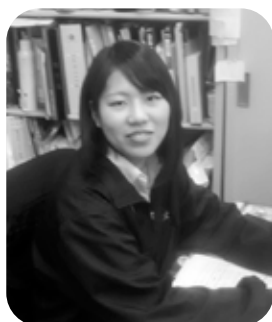
■仕事をする上で自分なりに工夫していることはありますか

現金に関してはすぐに処理をするようにしています。

以前失敗した事を繰り返さないようにミスはノートに書き、何かあったらノートなどを見返しています。また、他のスタッフが休んでも仕事内容が共有できるように関係する書類は全てコピーしファイリングしています。今の仕事を完璧にできるようになりたいと思います。

■社会人になって変わったと思うことはありますか

もともと韓国ドラマが好きなので何かあったらドラマをみて気分転換することは変わっていませんね(笑)。自分の給料から弟に何か買ってあげることができるようになりました。また、社内のスタッフとゴルフも始めたので頑張って上手になりたいと思います。社会人になったことで色々な経験をさせていただいています。



阿部 美紗輝 さん

■仕事を通して成長したと感じる点を教えてください

経理業務に携わる中で早く仕事を覚えることができるよう、家でも振り返ること一つひとつの業務にかかる時間が短くなったと思います。自分で考えて行動し、責任もありますので大変ですが、例えば難しい科目が合った時の達成感も感じることができます。

■仕事をする上で気を付けている点を教えてください

経理の仕事は銀行での振り込み、振替伝票の作成など多岐に渡りますので一つひとつの作業に間違いがないか必ず確認するようにしています。入社当初はわからないことばかりでしたが繰り返して作業をすることで対応にも慣れてきたように思います。

■今後の目標を教えてください

周りのスタッフに質問された時にも自分で対応し、解決できるよう色々な仕事を覚えて自分の力にしていきたいです。また同期の仲間もいるので助け合いお互いに成長していきたいと思います。



牧山 弥優さん

■ご自分の担当で最初に車を購入いただいた時のエピソードを教えてください

アメリカ人の男性のお客様でした。スマートフォンの通訳アプリを使って接客させていただき、最終的には6回のご来店となり、時間はかかりましたが購入いただいた時はとても嬉しかったです。

■社会人として成長したと感じる点を教えてください

最初の頃、営業への配属は嬉しい半面、不安もあり

ましたが接客を通して人見知りがなくなったように思います。趣味のバドミントンを通して社外にも相談できる仲間も増えましたし、車の事が少しわかってくると購入を検討している後輩の相談にも乗ることができるようになりました。

■今後の目標を教えてください

車のことをもっともっと勉強したいです。そして、部長が月に何台も契約しているので接客のトークを今よりもさらに工夫し、上手になりたいです。お客様の家族構成や車の用途をヒアリングし、情報をたくさん集めた上でお客様にぴったりの車をご提案していきたいです。



江口 菜月さん

■今の仕事内容と気を付けていることを教えてください

仕入れた車情報をシステムへ入力、在庫車をインターネットにアップするなどのデスクワークと接客をしています。自分の楽しいことを考える事で接客中の自然な笑顔ができるようになりました。

■同期の仲間や先輩社員との関係はいかがですか

同期の存在はとても大きいと思います。去年は同期のスタッフと二人で熊本や大分に旅行に行きました。何でも話せる仲間がいることは心強いです。その他、先輩や上司の皆さんも社員旅行などお酒が入るといつも以上に楽しい雰囲気になるので大変盛り上がります。

■今後の目標を教えてください

社会人は学生と違い簡単に休むことはできません。そのような基本的なことから、入力ミスをしないように確認を怠らないこと、そして先を読んで営業の皆さんをサポートし、少しでも役に立つことができればと思います。



梅野 滉平さん

■仕事内容とやりがいを教えてください

お客様の車をお預かりし、整備、修理、車検などサービス全般をしています。先輩の技術を見て盗み、自分で繰り返し作業し技術向上やスピードをあげるよう努力しています。車種によって仕組みが違う部分もあるので実際に触りながら学んでいくことにやりがいを感じます。一つひとつが自分の経験になっています。

■大きな怪我をしたと聞きました

昨年11月にバイク事故に合い、手を怪我しました。20日間の入院を経て2月に職場復帰したばかりです。3ヵ月もの間リハビリを行い、皆さんには迷惑をかけてしまいましたが、先輩の皆さんにはまだ完治していない手を気遣っていただき本当に感謝しています。

■今後の目標を教えてください

まずは整備士3級の資格を取ることです。たくさんの修理に携わり、音を聞くだけで調子が悪い部分、原因が少しずつわかるようになってきましたが、資格をとることでまた自分の自信に繋がります。5年、10年と長くサービスに携わる先輩を超えることができるようしっかり勉強していきます。



事務局企業訪問

今回は五島支部の(有)観光ビルはたなか 畑中 重徳さんにお話を伺いました。

＜祖父の代から続く 100 年企業＞



「(有)観光ビルはたなか」は畑中さんの祖父が「はたなか饅頭店」として1912年(大正元年)に立ち上げ、五島の地でその歴史と共に歩んできました。蒸し饅頭やかんころもちの製造販売から始まり、鬼岳饅頭、しまつばきなど次々と新商品を開発した先代の父は五島の土産品としては言わずと知れた「治安孝行(ちゃんここ)」の開発にも成功されました。「ちゃんここ」とは五島に伝わるお盆

の際の念仏踊りで8月13日には1軒1軒を回り踊りをもって供養を行います。先代でもある父はこのちゃんここ踊りに「治安孝行」という字をあて、地域の伝統文化と五島における銘菓を融合させた商品を発信されました。この治安孝行は昭和天皇がご来島された際お召し上がりになりお喜びになられたこともあります。当時5歳だった畑中さんは幼心に日本の旗を振ってお出迎えされたそうです。そこから時を経て平成天皇がご来島された際も同じようにお召し上がりになり、2代に渡って献菓されました。

＜先代の想いを母と共に＞

高校卒業後、東京の洋菓子専門学校で2年学び、その後福岡で3年修行していた矢先、先代が体調を崩し帰島することになります。しばらくたった1990年、その時は突然やってきました。福岡でバイパス手術を施された先代である父の容体が急変し、夜中、海上タクシーと一般のタクシーを乗り継ぎ福岡まで。先代との再会は霊安室でした。畑中さんは翌日も婚礼の仕事が入っていたためそのまま五島へ戻り気丈に仕事をされたそうです。突然代表者を亡くした会社。先代の後を母が継ぎ、社員に動揺が広がる中、専務として母と共に社員の前では不安や戸惑いを見せず「やるしかない」という想いで今日に至ります。

＜新商品の開発、会社組織へと成長するために＞

お客様に「おいしかった、ありがとう」と言われる度に仕事のやりがいを感じる畑中さん。先代による治安孝行の開発は約60年前、今後は新商品開発を一つ



の目標と掲げています。そのためにもまずは会社の組織をしっかりと編成することに意欲を持っています。製造や販売など18名の社員がそれぞれの責任や部門ごとの目標をたてることができるように、またベテランの社員が増えてきた中、若い社員を採用、教育するためです。同時に組織として稼働するために経営指針書の必要性を感じています。他団体やPTAの役なども歴任された畑中さんですが、同友会に入会し、まずは理念を成文化したいと強く思っています。その後指針書を作成し、社員と共有することで社員が元気になってほしいと語ります。「お客様に正直に接していく」畑中さんの想いがこもった経営理念の完成が今から楽しみです。

＜五島という地域で＞

少子高齢化が進み、五島でも人口減少は深刻な課題となっています。商店街でもシャッターが目立ち若者が島外へ流出していきます。ご年配の方には五島を「島だから」とネガティブに思う方も少なくないそうですが畑中さんは違います。地域に根差しているからこそその良さを理解しています。最近ではIターンの若い人が街づくりに興味を持ち、商売を始めるケースもあるそうで、畑中さんも今後は各青年団などの団体が組織や垣根を超え、互いに連携しながら地域の発展につながる活動ができるよう尽力していきたいと考えています。五島で100年以上続くはたなか社。自社の立ち位置を「五島でがんばっている一つのシンボル」として在り続けたいという決意があります。近い将来、母から代表を承継し、次の世代へと繋げていく、畑中さんの企業家としての視線は常に前を向いています。

＜(有)観光ビルはたなか＞

〒853-0002 長崎県五島市中央町7-20

TEL: 0959-72-3346 FAX: 0959-72-4482

HP: <http://www.hatanaka.cc>

(文責 事務局次長 峰 圭太)

新入会員の皆さんです＜2月入会・復会＞

(敬称略)

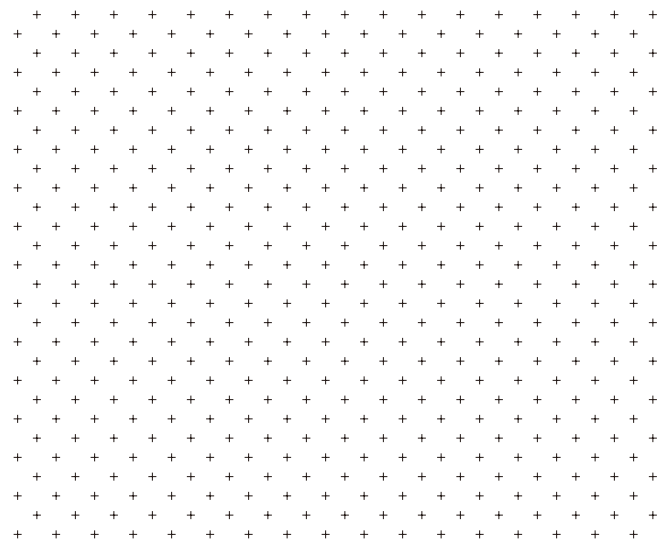
＜入 会＞

支 部 名	長崎出島支部	
氏 名	たなか けんいち 田中 健一	
企 業 名	メットライフ生命保険(株)	
役 職 名	コンサルタント	
企 業 住 所	〒850-0033 長崎市万才町8-22 長崎朝日ビル2F	
T E L	095-828-0241	
F A X	095-822-3775	
業 種	生命保険	
企 業 P R	私たちは、4つのお約束をします。 ・お客さま中心主義 ・常にベストを尽くす ・お客さまの目線でよりわかりやすく ・力を合わせて成功を目指す お客さまに寄添い、お客さまの笑顔のお手伝いをして参ります。	
スポンサー	中村 こずえ	

支 部 名	大村支部	
氏 名	よしの ゆたか 吉野 豊	
企 業 名	(株)サンダイ	
役 職 名	取締役	
企 業 住 所	〒856-0047 大村市須田ノ木町858-6	
T E L	0957-54-5150	
F A X	0957-54-5149	
業 種	食品原料の開発・販売業	
企 業 P R	長崎県産の農産物・お茶にこだわった食品原料の開発・販売を行なっております。	
スポンサー	徳田 義彦	

＜復 会＞

支 部 名	諫早支部	
氏 名	ふるかわ ぶいつ 古川 無逸	
企 業 名	(有)古川左辰商店	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒854-0011 諫早市八天町1-11	
T E L	0957-22-4800	
F A X	0957-22-2066	
業 種	農業資材卸業	
企 業 P R	農業資材の販売を約60年以上しています。近年は害獣対策の電気柵、ワイヤーメッシュ、米の保冷庫等が売れています。	
スポンサー	馬場 一信	



4月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページやe.doyuからも閲覧・参加申込可能です。

●長崎浦上支部・長崎出島支部

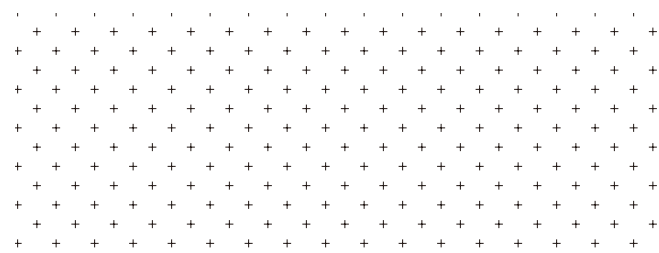
日 時 4月25日(火) 18:30
会 場 サンプリエール
内 容 各支部総会・合同懇親会

●大村支部

日 時 4月20日(水) 18:30
会 場 長崎インターナショナルホテル
内 容 支部総会

●諫早支部

日 時 4月26日(水) 18:30
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
内 容 支部総会



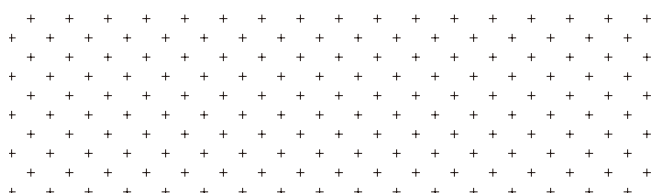
●島原支部

日 時 4月27日(木) 19:00
会 場 HOTEL シーサイド島原
内 容 支部総会

18日の県総会9日後の4月27日、島原支部の総会を開催いたします。この1年間の活動報告と2017年度の計画案を審議します。会として活気あふれる1年間、経営者として学びの多い1年間にする為に会員一人ひとりの意識を高く持つ事が大事です。みなさん100%出席で来期も共に学びましょう！

●佐世保支部

日 時 4月25日(火) 19:00
会 場 グランドファーストイン佐世保
内 容 支部総会



●北松浦支部

日 時 4月20日(木) 18:30
会 場 サンパーク吉井
内 容 支部総会

●五島支部

日 時 4月21日(金) 19:00
会 場 観光ビル はたなか
内 容 支部総会

●青年経営者会

日 時 4月20日(木)
会 場 未定
内 容 未定

3月理事会 議事録 抜粋

3月1日(水) つくば倶楽部

開会挨拶－松尾代表理事

先日は鹿児島全研、長崎から42名が参加しました。今回の全研のいいところとして、①多くの仲間と会える ②長崎全研に向けての勉強ができた ③エネルギーシフトの学びを再度できたという3つです。エネルギーシフトに関しては勉強するだけで実践できておらず反省しています。会社、同友会、自宅で実践できるよう努力していきます。また本日、佐世保南高校の卒業式に参加しました。卒業生の顔がとてもこやかに皆さんが弊社に来てくれたらいいのと思った次第です。今後共同求人者の勉強会を重ね、合同企業説明会の開催、合同入社式、社員共育という流れをつくっていくことになるかと思うので地元の企業は参画をよろしくお願いします。本日はよろしくお願いします。

仲間づくりについて

1)7名の入会、5名の退会、1名の除籍、1名の交代、2名の企業変更を承認

2)仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

西山仲間づくり委員長総括－声明文を発表(3月27日を今期の締め切りとすることを提案)
→西山委員長から声明文を発表

(西山委員長)

3年越しでお誘いしていた方に松尾代表に訪問いただき決心していただいた。佐世保支部は単独で3月2日に増強デーを開催します。知名度、力をつけるためにも仲間を増やしていきたいと思いますのでよろしく申し上げます

(松尾代表理事)

600名を目指して頑張っています。代表理事就任当時330名の会員が1年で297名まで落ち込み、会を存続するには仲間が必要だと痛感しそれから成長、発展するために増強の声を上げてきました。山領さんが仲間づくり委員長の時、熊本に学び増強デーの開催を行いました。「1日、半日だけでもいいから同友会に時間をください」という言葉は今でも胸に残っています。それから訪問した際、なかなか説明ができないということで皆同じように説明できるよう、紙芝居のツールを作成いただきました。しっかり活用していただきたいと思います。紹介いただいたリストも放置してはいけません。せっかく紹介いただいたリストは宝物ですので必ず訪問してください。支部長の熱い想いが大切です。まだまだ時間はありますのでぜひご協力よろしくお願いします

協議・承認事項

1)2017年度に向けて

①第46回定時総会について

(前回理事会までの決定事項)

4月18日(火)ホテルニュー長崎にて14:00～開催とする。総会までの参加に関しては参加費無料、懇親会までの参加の場合、参加費を5,000円とする。記念講演者を熊本同友会 早咲代表理事とし、テーマを「100年後の元気な熊本の未来を創る～失敗を糧に、悔しさをバネに、苦しみを優しさに変えて～」とする

(今回確認事項)

・各支部参加目標数の確認

長崎浦上…30、長崎出島…30、大村…25、諫早…15、島原…15、佐世保…20、北松浦…10、五島…5 合計150

→上記を受け大村:20、北松浦:7に変更。合計142名の参加必達目標を確認

(三役会案)

司会、スローガン唱和者、議長、議事録署名人等、役割に関しては参加状況を見ながら三役一任とする。また総会時、金井全研実行準備委員長より長崎全研のキックオフ宣言をいただく

→三役会案を承認

②来期のスケジュールについて

→最終調整を依頼。また仲間づくり委員会の日程も反映いただく

2)2017年賀詞交歓会の振り返り

→最終収支を承認

3)長崎同友会ポスター作成について

→福岡同友会のデザインをベースに作成する。フォントを手書き風にすることを承認

※作成枚数に関して、金融機関で600弱、会員、外部も検討し作成枚数を調整する

4)第24回経営フォーラムについて

→岩会員を実行委員長とすることを承認

※開催日程について現状10月13日(金)または10月27日(金)を候補としているため年間予定表に「候補」として両日記載することを確認

5)中同協定時総会 in 愛知、分科会報告者について

→松尾代表理事と横田島原支部長を中同協へ推薦

- 6) 来期支部移動会員の確認
→ 移動会員を確認
- 7) 反社会的勢力排除のための研修会開催について
→ 税制に関する勉強会終了後、理事会にて学習会を開催する。その後各支部で対応いただく
- 8) 諫早市手をつなぐ育成会より有料セミナーの案内について
→ 3月19日開催。ガイドライン上問題がないためe.doyuにて案内を流すことを承認
- 報告・連絡事項
- 1) 2月 県本部・各委員会・各支部等の活動状況について
- 2) 例会について更なる例会の充実をめざして
→ 3月は今年度最後の例会となります。年度末お忙しいとは思いますがぜひ出席率の向上をお願いします
- 3) 中同協 主要行事の紹介
- 4) 1月26日(木)中同協障害者問題委員会参加報告
(中村委員長)
初めて中同協の委員会に参加した。過去の全国大会から久しぶりに会う方も多く、とても刺激になった。全国に出かけることは大変ではあるが全国の仲間と議論できることはとても貴重なことなので今後も継続していきたい
(菅原副委員長)
昨年5月の委員会に引き続き2回目の参加。他県の異なるアイデアをいただくことができ、長崎にも持ち帰ってしっかりと共有していきたい
- 5) 2月9日(木)誰もが働きやすい職場づくり 実践企業認証制度創設記念式参加報告
(山田事務局員)
県が創設した働きやすい職場づくりに関する新しい認証制度。今回は授賞式として10社が認証。同友会からは長崎浦上支部：荒木会員が受賞。詳しくはe.doyuの掲示板に詳細を掲載
- 6) 2月9・10日(木・金) 中同協 経営労働委員会参加報告(宇土委員長)
→ 25同友会が参加。ポイント2つ。1つ目は経営環境の変化に伴う労働環境の対応。厚労省が正社員のアルバイトを認めるという案もある中、働き方が変化してきている。それに伴い委員会では就業規則のプロジェクトを開始している。ただし、ベースにあるのはやはり経営指針。労使見解を反映した経営指針の作成と実践が大切である。2つ目は各地の状況報告。長崎は他県に比べまだまだ運動の余地があると痛感した。来期半年コースのセミナーなどを企画しているので足場を固めながら労使見解の説明も含めて活動の見直しを図っていきたい
- 7) 2月11日(土)中同協青年部連絡会正副代表会議参加報告(山口青経顧問)
→ 大きく2つが確認された。1つは9月14・15日の茨城青全交。分科会の一つに福岡の中村さんが決定した。2つ目は青年部連絡会の組織について。現状中同協の広浜幹事長と広島の間早さんが代表になっているが青年部の現役ではないことが課題。今後は現役の青年部から代表を輩出し若手が活躍できるような組織をつくる方向で協議している

- 8) 2月14日(火)産業人財育成戦略策定検討WG参加報告(田口事務局員)
(代理：峰事務局次長)
県コンソーシアムの中のワーキンググループ。各育成戦略の進捗を確認した
- 9) 2月16・17日(木・金)第47回 中小企業問題全国研究会参加報告
→ 参加者全員から参加報告 ※詳細は広報誌およびe.doyuに掲載
- 10) 2月21日(火)大分同友会 第2回障がい者の雇用環境フォーラム参加報告(中村委員長)
→ 大分の会員数600弱に対し、障がい者の実習受け入れ企業が100社ある。障がい者雇用に気持ちがある企業の意識付けが大事だと学んだ。来期ダイバーシティ委員会の取り組みとして8月に特別支援学校3校とタイアップし学校訪問などの企画を検討している。その際はぜひよろしくをお願いします
- 11) 2月22日(水)春闘共闘会議との意見交換会参加報告(参加者より)
→ 参加者：松尾代表、金井副代表、西村専務、峰事務局次長を代表して松尾代表より
毎年開催している意見交換会。教師の組合からも参加され、様々な意見交換会を行なった。今後は事前に会員から質問事項等を集約し意見交換会に臨むことも検討していきたい
- 12) 2016年度内規集追加事項の確認
→ 今年度理事会決議事項における内規を確認。各支部でも参考にしていた
- 13) 3ヵ月会費滞納者について
→ 対象1名。4ヵ月未納となり規約に則り除籍

- 14) その他
(土井委員長)
3月25日(土)第3回新入社員フォローアップ研修および4月3日(月)2017年度合同入社式開催するのでぜひご参加ください。また3月14日に東京で九州・山口フェスタとして会社情報説明会が開催される。最近の学生は目が肥えているとも言われているのでしっかり説明していきたい。今後共同求人準備委員会も立ち会えるためまた結果の情報を共有していきたい
(事務局)
祝電対応報告：佐世保支部 原田会員。3月1日付でA型就労支援施設を開設 ※池野支部長が3月1日に新施設をオープンしたため祝電の対応を行う

- 留意事項
- ◎2019年 中小企業問題全国研究会(全研)について
→ 長崎市で開催することを決定(2015年11月理事会)
2017年2月理事会にて準備委員長決定
2018年2月兵庫全研よりキャラバン開始。候補日2019年2月21・22日と2月28日・3月1日(木・金)
- ※次回日程－4月理事会(現新理事会)
4月7日(金)－グランドファーストイン佐世保 17:00～19:00

会員消息

●企業住所等変更

- 多田 長三郎 会員** (長崎浦上支部)
新FAX番号：095-894-9991

西 隆治 会員 (大村支部)
新役職：代表取締役
- 林田 雅博 会員** (大村支部)
新会社：アーテック(株)

福島 圭吾 会員 (島原支部)
新住所：〒855-0835
島原市西八幡町8390
- 永吉 秀行 会員** (佐世保支部)
新会社：ジブラルタ生命保険(株)

山崎 秀平 会員 (佐世保支部)
新役職：代表取締役社長

退会者(敬称略)

会 員 名	会 社 名	支部名	入会年月
小 坂 元 一	(株)長崎会所	長 崎 浦 上	2011年 3月
原 畑 弘 毅	(有)長崎国際情報社	長 崎 浦 上	1991年 3月
矢 口 満 昭	(有)ハウジング・ラボ	長 崎 浦 上	2010年11月
富 永 隆 一	特定非営利活動法人 障害者就労支援センター	長 崎 出 島	2016年3月復会
豊 島 秀 人	ウミノ酒店	長 崎 出 島	2016年 1月
馬 場 紀 人	(株)馬場長六商店	佐 世 保	2012年 5月

会 員 数 (3月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	138	115	80	100	70	145	55	32	735
期首	113	88	68	73	56	122	44	25	589
現在	106	86	76	70	61	122	44	24	589